

<News Letter>

報道関係各位

2017年1月5日

ImPACT山川プログラム Brain Healthcareチャレンジで、 AEAJの「ラベンダーハンドマッサージ」に関するアイデアが入選

公益社団法人 日本アロマ環境協会(略称:AEAJ、東京都中央区)は、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)が主導する革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」の「Brain Healthcareチャレンジ」において、「ラベンダーハンドマッサージ」に関する研究計画を提出し、この度入選いたしました。



「Brain Healthcareチャレンジ」は、脳の健康促進の観点から、非医療分野の製品やサービスに関する革新的なアイデアを幅広く募集する取り組みで、2016年度は16件の応募があり、AEAJを含む5件の取り組みが入選アイデアとして選ばれました。

AEAJが提出した研究計画は、「ラベンダーハンドマッサージのストレス軽減により脳の健康度アップ～育児も仕事もがんばる女性をアロマ de サポート～」で、ラベンダー精油のハンドトリートメントが育児と仕事を両立する女性の脳機能や心に及ぼす影響を明らかにすることを目的としたもの。東京工業大学の施設で実際に脳の状態を計測する実証トライアルを行い、その結果を、2017年2月に開催するImPACTのシンポジウムで公開する予定です。

AEAJは、今後も人々の心身の健全な発達への貢献を目指し、アロマテラピーの学術研究とその普及啓発に取り組んでまいります。

「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)」について

革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)は、実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進することを目的として創設された、内閣府が主導するプログラム。

「Brain Healthcareチャレンジ」について

企業や研究機関を対象に、非医療分野(民生領域)の製品やサービスの参加を幅広く募集。脳の健康促進の観点から革新的なアイデアを選別した上で、実証活動を行い、脳情報の計測と解析による脳情報の見える化によって、脳の健康に与える影響を科学的に評価する取り組み。評価の指標には、「脳の健康度(BHQ)」を採用している。

＜審査有識者一覧＞

審査委員長 渡辺 恭良(理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター センター長)

審査委員 根本 清貴(筑波大学 医学医療系臨床医学域 准教授)

朴 啓彰(高知工科大学 地域交通医学・社会脳研究室 室長)

佐藤 正樹(株式会社ジャフコ 投資部 ライフサイエンス投資グループ プリンシパル)

向林 隆(株式会社アイティーフーム 執行役員)

長谷川 宏之(三菱UFJキャピタル株式会社 理事・ライフサイエンス室長)

入選した研究計画

ラベンダーハンドマッサージのストレス軽減により脳の健康度アップ ～育児も仕事もがんばる女性をアロマ de サポート～(抜粋)



目的

嗅覚野を通じた脳の複合領域の活性化が報告されているラベンダー精油と、前帯状皮質を活性化させるハンドマッサージの、五感へのダブルの刺激による効果を明らかにすることで、育児と仕事の両立に悩む産後女性のサポートに寄与する。

背景・期待される効果

- 産後女性の離職率は高く、男性の育児参加は進んでいない。また、産後2年以内に離婚する家庭が多いことも明らかになっている。夫婦間のラベンダーハンドマッサージによるストレス軽減は、**女性の継続就業、夫婦間コミュニケーション向上につながることが期待される。**
- 「脳の健康度アップ」に向けて、手軽なラベンダーハンドマッサージという**ライフスタイルの新提案**となる。
- 手軽なラベンダーハンドマッサージの提案により、精油、マッサージオイル、ハンドマッサージの学びの場としてのカルチャー講座、地方の精油抽出産業等の**新市場の創造・活性化**が期待できる。

審査員のコメント

- この課題においては、自律神経系計測を含めた評価も重要と考えられる。(渡辺氏)
- 産後は気分も不安定になりやすいため、何らかの介入方法があることは重要である。本提案は、精油やマッサージだけでなく、夫婦の時間を確保するきっかけになるため、有用と考える。介入中に実際にマッサージをきちんとしていることを担保することが正しい結果を得るために重要ではないか。(根本氏)
- ラベンダーとハンドマッサージが持つ個々の効果・効能に、2つを同時に施行することで相加相乗効果が期待できる。言葉を介さずに、夫婦間のコミュニケーションが改善できるところが魅力でもある。(朴氏)
- 新しい事業につなげるためには、アロマとマッサージの効果について、分けて検証することも重要と考えられる。(向林氏)
- 女性の社会活躍を広げるには夫婦間コミュニケーション改善が必要と考える興味あるテーマ。本実験に参加する被験女性のパートナーについても脳の変化はあるのではないか。また、マッサージをしている間の被験女性とパートナー間での会話の程度も重要なファクターと考える。(長谷川氏)

公益社団法人 日本アロマ環境協会(AEAJ)について

AEAJは内閣府に公益認定された、アロマテラピー関連で唯一の公益法人。植物の香りを用いた「アロマテラピー」を通じて人々の心身の健康に寄与することを目的に、アロマテラピーの普及・調査・研究などの活動を行っています。

また、自然の香りある豊かな環境(アロマ環境)を未来につなぐため、環境カオリスタ検定や香育など、自然環境の保全・創造にむけた取り組みも推進しています。【会員数】個人正会員56,449名、法人正会員278社(2016年3月31日現在)

アロマテラピーについての研究など、アロマ関連情報をお探しの際はお気軽にAEAJにご連絡ください。

〈本件に関する報道関係からのお問い合わせ先〉

公益社団法人 日本アロマ環境協会 広報担当

Tel: 03-3548-3401(平日9:00~17:00)